

出陳資格

- (1) ビギナー(初心者)クラス及びアトラクション(F U N クラス)は、本会会員が所有する生後 9 カ月 1 日以上 (**2025 年 7 月 12 日**) 及びそれ以前に生まれた犬)の本会登録犬(アベンディクス登録犬を含む)及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬となります。
- ※ビギナークラスは 2 回演技が出来ますが、審査対象となるのは 1 回となります。
- (2) ノービス(1 度)、インターミディエイト(2 度)、アドバンスド(3 度)のクラスは、本会会員が所有する生後 18 カ月 1 日以上 (**2024 年 10 月 12 日**) 及びそれ以前に生まれた犬)の本会登録犬(アベンディクス登録犬を含む)及び本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬となります。
- (3) 本会の非公認犬種・本会の非公認団体登録犬・交雑犬は、申込締切日までにマイクロチップ装着又はタトゥーを実施していかなければなりません。

競技会申込書には、該当箇所にマイクロチップ番号又はタトゥー番号をご記入ください。

本会の非公認犬種につきましては、目録上「交雑犬」の表記となります。

- (4) 本会国内公認団体の登録犬につきましては、事前に初代アベンディクス登録が完了したもののみとなります。よって、初代アベンディクス登録同時の出陳申込はできません。
- (5) 次に該当する犬は出陳することはできません。
- ①伝染病・皮膚病など健康上の危惧のある犬。
 - ②テーピングされている犬。
 - ③縫合されている犬。
 - ④包帯をしている犬。
 - ⑤妊娠中の犬、競技会開催日前 75 日以内に出産した犬。
 - ⑥発情期の牝犬。
これは、会場であるドッグリゾート woof が発情犬の入場が不可であるため。
- (6) 避妊や去勢された犬は、出陳することができます。

ハンドラー

- ①本会のクラブ会員
- ②本会クラブ会員の家族(同居の血縁者)
この場合の出陳犬はその家族名義の所有犬に限ります。

重複出陳

- ①フリースタイルと H T M に重複出陳することができます。その際、両競技種目の競技クラスは問いません。
- ②ビギナー、ノービス、インターミディエイト、アドバンスドの出陳犬は、同じ競技種目のアトラクションに出陳することはできません。

審査と進行

日程は下記の通りとなります。

4 月 12 日 (日) フリースタイル&HTM

競技構成

< H T M >

- (1) ルーティンは、最低 75 %以上の脚側と 25 %以下のフリースタイルの動きで構成されていること。犬はルーティンの最中、ハンドラーから 2m 以上離れてはならない。
- (2) 理想的なヒールワーク・トゥ・ミュージック・ポジションにおいては、犬とハンドラーの距離は一定であり、15cm 以下が望ましい。犬またはハンドラーは、お互いの動きを制限してはならない。犬は常にハンドラーのペースや指示に順応しなければならない。全てのポジションにおいて、犬は平行を維持し、横方向への動きを除き、常に単線の動きであることが望ましい。犬とハンドラー間の距離が 50cm を超えた場合は、フリースタイルと見なされる。犬の動きが遅れたり、犬が先に出たりするのは望ましくない。距離はハンドラーの最も近い部分から犬の最も近い部分で計測する。犬は四脚で歩かなければならぬ。犬はハンドラーのどちら側での作業においても、平等にくつろいでいるなければならない。犬は自然体で動くべきである。
- (3) ルーティンの難易度はポジションの数だけではなく、動く方向やペース変更の多様性にも関係する。ポジションの変更は、犬が自らポジションを判断する能力を示す。
- (4) ルーティン構成に際して、次のとおりとする。
- ①ビギナー(初心者)
左、右または両方の脚側行進(犬は前進のみ)で、直線、曲線及び円(8 の字)を組み込むことを推奨する。可能な限り、歩度変換を行うことが望ましい。
 - ②ノービス(1 度)
1 から 3 ポジション、1 から 2 方向が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。
 - ③インターミディエイト(2 度)
3 から 5 ポジション、2 から 3 方向が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。
 - ④アドバンスド(3 度)
6 から 8 ポジション、そのうちいくつかは 4 方向(前後左右)が望ましい。常歩・速歩・緩歩の歩度変換を行うことを推奨する。
 - ⑤アトラクション(F U N クラス)
モチベーターの使用は、可能とする。なお、採点はされませんので、席次はつきません。
- (5) ポジションは、次のとおりとする。なお、ハンドラーは以下の項目から自身のポジションを選択する。
- ①犬の右肩がハンドラーの左足の横に平行に位置する(左側)。
 - ②犬の左肩がハンドラーの右足の横に平行に位置する(右側)。
 - ③犬の右肩がハンドラーの右足に平行して位置する(逆向き右側)。
 - ④犬の左肩がハンドラーの左足に平行して位置する(逆向き左側)。
 - ⑤犬の右側がハンドラーの前に来るよう、横向きで立つ。犬の右肩はハンドラーの右足に位置する。これはハンドラーの右足の内側、外側どちらに位置していても良い。
 - ⑥犬の左側がハンドラーの前に来るよう、横向きで立つ。犬の左肩はハンドラーの左足に位置する。これはハンドラーの左足の内側、外側どちらに位置していても良い。

- ⑦犬はハンドラーの後ろに犬の右肩がハンドラーの左足に来るよう立つ。
- ⑧犬はハンドラーの後ろに犬の左肩がハンドラーの右足に来るよう立つ。
- ⑨犬はハンドラーの両足の間に位置し、ハンドラーと同じ方向を向く。犬の肩はハンドラーの足に位置する。
- ⑩犬はハンドラーの両足の間に位置し、ハンドラーと反対の方向を向く。犬の肩はハンドラーの足に位置する。

<フリースタイル>

- (1) ルーティンは、75 %以上のフリースタイルの動き及び 25 % 以下の脚側で構成されていること。犬の健康を脅かす動き以外、全ての動きが認められる。
- (2) 理想的なフリースタイルは、様々な動きのタイプの多様なバラエティーで構成されている。動きは音楽の変化に合わせて流れるようにルーティンに組み込まれるべきである。
- (3) ルーティン構成に際して、次のとおりとする。

①ビギナー(初心者)

規定のトリックから少なくとも 3 つ選択して、ルーティンに組み込むこととする。なお、規定外のトリックを行うことができるが採点はされない。

※ビギナーの規程のトリックは次のとおりとする。

- ア スピン/お回り(犬は単独での右回りまたは左回)
- イ ウィーヴ/股ぐぐり(股ぐぐり歩きまたは 8 の字股ぐぐり)。
- ウ アラウンド(人の周りを犬が時計回りまたは反時計回り、犬は前進)。
- エ お手おかわり。
- オ 招呼。
- カ 伏臥。
- キ ジャンプ(その場で足飛びまたは腕飛び)。
- ク フロント(犬と人が対面した位置)。

②ノービス(1 度)

有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される

③インターミディエイト (2 度)

有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。

④アドバンスド(3 度)

有害とみなされないムーヴであれば、すべて許可される。主にトリックで構成され、ディスタンスワークが奨励される。

⑤アトラクション(F U N クラス)

モチベーターの使用は、可能とする。なお、採点はされませんので、席次はつきません。

ルーティンタイム

ルーティンタイムは次のとおりとする。

- | | |
|---------------------------|------------------|
| ①ビギナー(初心者)..... | 1 分以上 2 分以内 |
| ②ノービス(1 度)..... | 1 分 30 秒以上 4 分以内 |
| ③インターミディエイト(2 度)..... | 2 分 30 秒以上 4 分以内 |
| ④アドバンスド(3 度)..... | 3 分 15 秒以上 4 分以内 |
| ⑤アトラクション(F U N クラス)..... | 4 分以内 |

犬のアクセサリー及び小道具

- (1) 犬のアクセサリー及び小道具は、次のとおりとする。
 - ①リング内では 1 つの首輪のみが認められるが、首輪無しでパフォーマンスすることが歓迎される。首輪はデコレーションされていても良いが、首輪のサイズは犬の肩を超えるものであってはならない。尖った首輪、エレクトリック・カラー及び他の同様の抑制装置は禁止とする。この規制は、競技会開始から終了まで適用される。
 - ②ハーネス、コート、マズル等は必要であればリングの外で着用しても良い。ただし、マズルを使用する場合は、犬が水を飲んだり自由に息をしたりすることができるような物でなければならない。
 - ③長毛の犬が頭部にゴムのヘアバンドを使用することは、犬の視界が良くなるため認められる。ヘアバンドは、犬の視界を向上するため、装飾としてみなされるべきでない。
 - ④グリッターや毛髪染料で犬をデコレーションすることは禁止とする。
 - ⑤犬に服を着用させることは禁止とする。
- (2) ハンドラーが小道具を自身で設置したり撤去しない場合、ヘルパーを用意することができる。
- (3) リングで使用される各小道具は、ルーティンのパフォーマンスには不可欠なものであり、犬によって使用されなければならない。
- (4) 小道具もしくはハンドラーのコスチュームは決して犬を見劣らせるようなものであってはならない。
- (5) 小道具やアクセサリーの準備及び撤去は、合計 3 分間(2 回 × 1.5 分間)以内とする。

リード

リング内のリードの使用は、認められない。リードは、リングに入場する前にリングスチュワードに渡す。

指示

指示は声符、ジェスチャー及び体符で与えられる。犬とハンドラーがルーティンを通して、チームワークの調和を維持すれば指示の回数に制限はない。

リングへの入退場

リングへの入退場時は、次のとおりとする。

- ①ハンドラーは犬を自身の腕に抱きかかえることができる。ただし、小道具で犬を持ち運ぶことは許可されない。
- ②ルーティン開始前に犬を地面に降ろし、犬は自発的にスタート位置につかなければならない。
- ③ルーティン終了時、犬がハンドラーの腕の中、背中、脚 等の場合は、リングからの退場前に一度、犬を地面に降ろさなければならない。

失格について

次の各号に該当した場合、失格となる。

- ①申し込みと異なるハンドラーまたは出陳犬で出場した時
 - ②審査員を欺こうとする行為があった時。
 - ③不正行為をした時。
 - ④ドーピング規則に従わなかった時。
 - ⑤リング内に食べ物やモチベーターを持ち込んだ時
(例、玩具やクリッカー等)。
- ただし、アトラクションにおいては、モチベーターの使用が可能な場合は除く。

- ⑥出陳犬がコントロールできなくなり、リングを離れた時。ただし、出陳犬がルーティン中に、誤ってリング外に出てしまった場合は、減点となる。
- ⑦出陳犬がリング内で排泄した時。
- ⑧ハンドラーが明らかにルーティンをトレーニングラウンドにした時(音楽は最後まで継続する)。
- ⑨手荒なハンドリング(口頭または身体的)をした時。
- ⑩会場内で、出陳犬が他の犬または人を攻撃した時。
- ⑪出陳犬がルーティン中、リング内でリードを着けていた時。
- ⑫リング外からのアシストがあった時。
- ⑬抑制するために犬を触った時。ハンドラーから犬に触ることはできず、犬から行うものとする。
- ⑭小道具やアクセサリーの準備及び撤去の合計時間が、3分間を超えた時。
- ⑮音楽が4分1秒以上となった時。
- ⑯ハンドラーの不適切な言動があつた時。
- ⑰ハンドラーが規則に従わない時。
- ⑱リング内で犬が服を着ている時。
- ⑲リング内で犬が首輪を2つ以上着けている時。

上記以外においても、規程の違反行為は失格に繋がる時がある。

表彰

クラス別(アトラクションは除く)に得点の順位によって、1席~3席までを入賞とし、ロゼットを付与します。

その他

- (1) 発情により欠席となった場合でも、出陳料のご返金はいたしませんので、予めご承知おきください。
- (2) 会場であるドッグリゾート woof は、飲食物の持ち込みが禁止となっております。出陳者は必ずお弁当を注文してください。
同伴者はその限りではありません。
- (3) 会場であるドッグリゾート woof では、狂犬病予防接種証明書(コピー)、3種混合以上のワクチン接種証明書(コピー)を提示していただく場合がありますので、競技大会当日ご持参ください。